

申請者各位

アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請について

公益財団法人 日本水泳連盟地域指導者委員会

この免除申請は、公益財団法人日本水泳連盟(以下「本連盟」という)・公益財団法人日本体育協会公認水泳指導員・水泳上級指導員規則第11条2項及び本連盟公認基礎水泳指導員規則第9条2項の規定に基づき実施する。

◇本免除申請を希望する者は、以下の方法に従って書類等の準備をして手続きを行うこと。

<申込方法>

葉書・封書にてアスリート対象基礎水泳指導員免除を申請する旨(アスリート免除申請希望と書く、申請書類郵送先〒住所、氏名、電話番号)を記載し郵送する。

郵送先：〒150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1-1
岸記念体育会館4F
公益財団法人日本水泳連盟 地域指導者委員会 宛

↓

本連盟地域指導者委員会から申請書類が該当者郵送先へ送付される。

↓

<申請方法>

- 1 申請書：「アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請書」に必要事項を記入する。
*選手本人及び監督・コーチ育成の選手については、大会への出場・順位が証明できる資料(コピー可)を添付する。写真を添付する。(縦3.5cm横2.5cm位)
- 2 審査料：審査料5,000円を次の口座に振込み、振込み用紙(コピー可)を申請書に貼付する。
審査料振込先：①みずほ銀行渋谷中央支店 普通預金 2732293
口座名義 公益財団法人 日本水泳連盟指導者養成事業
②渋谷郵便局 00100-5-542045
口座名義 公益財団法人 日本水泳連盟指導者養成事業
*お願い：振込み用紙の伝言欄に「アスリート免除申請」と記載してください。
*審査料は振込みとなります。現金での受け付けは出来ませんのでご注意ください。
- 3 申請書類を本連盟地域指導者委員会宛郵送する。
郵送先：〒150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1-1
岸記念体育会館4F
公益財団法人日本水泳連盟 地域指導者委員会 宛

↓

- 4 ◇ 審査により申請が認められた場合
本連盟地域指導者委員会から申請者に通知をします。本連盟地域指導者委員会から申請者現住所地の加盟団体へ書面にて連絡後、加盟団体から登録申請をすることとなります。(規定の登録料がかかります。)登録申請については加盟団体の指示に従ってください。
◇ 審査により申請が認められなかった場合
本連盟地域指導者委員会から申請者に書面にて連絡をする。

■注意

- 1 本資格申請の該当者は、満20歳に達したもので、各競技(競泳、飛込み、水球、シンクロ、OWS)において、本連盟が選考して国際大会に出場した選手及び選手を育成した監督・コーチ、ならびに日本選手権(等)において入賞した選手及び選手を育成した監督・コーチとする。実績については、平成19年度以降の実績とする。尚、平成19年度より前に国際大会に日本代表選手として出場し、現在水泳指導者として活動している者については、特別枠で申請することが出来る。
- 2 本資格申請の該当者は、コーチ資格への受講を条件とするものである。
- 3 本資格の審査は、8月を除き1カ月に1回の審査日を行う。審査の結果については、本人ならびに本人が所属する加盟団体及び競技力向上コーチ委員会委員長に通知する。

(別表)

区分	免 除 対 象 者	免 除 内 容
ア	<p>【基礎水泳指導員及び水泳指導員資格を目指す者】 対象競技：競泳、飛び込み、水球、シンクロ、OWS</p>	(実技講習) 基礎及び実践技術
	<p>(公財) 日本水泳連盟が選考した国際大会出場者 オリンピック、世界選手権大会、アジア大会、パンパシフィック大会 ユニバーシアード大会、ワールドリーグ大会 国内大会 日本選手権大会、国民体育大会、日本学生選手権大会 日本高等学校選手権大会 日本短水路選手権大会</p>	個人メドレー (検定試験は 免除しない)
イ	<p>日本赤十字社 ○水上安全法指導員 ○救助員資格保持者 ○救急法指導員 ○救急員資格保持者</p>	(実技講習) 心肺蘇生
	<p>消防機関 ○消防上級救命講習修了者 ○上記の指導に当たる資格保持者</p>	(検定試験は 免除しない)
ウ	<p>本連盟日本泳法 ○「練士」以上保持者</p>	(実技講習) 日本泳法（横泳ぎ） (検定試験は 免除しない)
エ	<p>【コーチ資格への受講を条件とする者】 対象競技：競泳、飛び込み、水球、シンクロ、OWS</p>	審査の上、基礎水泳 指導員講習及び検定 を免除する
	<p>(公財) 日本水泳連盟が選考した国際大会出場者及び選手を育成した監督・コーチ オリンピック、世界選手権大会、アジア大会、パンパシフィック大会 ユニバーシアード大会、ワールドリーグ大会 □ 国内大会 日本選手権大会において8位入賞以上の出場者及び選手を育成した監督・コーチ</p>	

註1) 対象者は、申し込み時点で区分に該当している者

(講習・検定試験申し込み後に、新たに対象者となっても免除できない。)

註2) 第2条(1)の免除対象者は受講料・受験料の免除がないので、講習については出来る限り参加することを勧める。特に選手登録を終了してから長期間経過している場合は、講習会に参加するように勧める。

【様式 5】

アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請書

◇ 本人の実績は「アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請」に該当いたしますので、申請をいたします。

現住所	〒	電話	()
氏名(ふりがな)	()	男女	携帯電話 - -
勤務先		勤務先電話	
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)	備考	

- * 免除対象者は限定されていますので、別紙免除規程をご欄ください。
- * 審査の結果、免除が認められた基礎水泳指導員の登録は、原則、現住所の加盟団体に登録いたしますのでご了承ください。

【選手用】 免除対象 出場大会名 <記入上の注意> 日水連が選考して出場した国際大会名 国内大会は決勝順位まで記載してください。	平成 年度
	平成 年度

- * 大会への出場・順位が証明できる資料（コピー可）を添付してください。

【監督・コーチ用】 免除対象 出場大会名 <記入上の注意> 大会名及び出場した選手名と戦績と選手との関係を簡単に記載してください。	大会名	平成 年度			
	出場選手名		出場種目		順位 第 位
	【選手との関係】 (ここに選手との関係に関する記載を行う)				

* 審査費用 5,000 円の振込み用紙を貼付ください。(ATM, コピー可)

写真貼付

- * 申込先（郵送で受け付ける）
 〒 150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1-1
 (公財) 日本水泳連盟 地域指導者委員会宛
 封筒に「免除申請書在中」と書く。
- * 申込書の個人情報については、本関係以外には使用致しません。